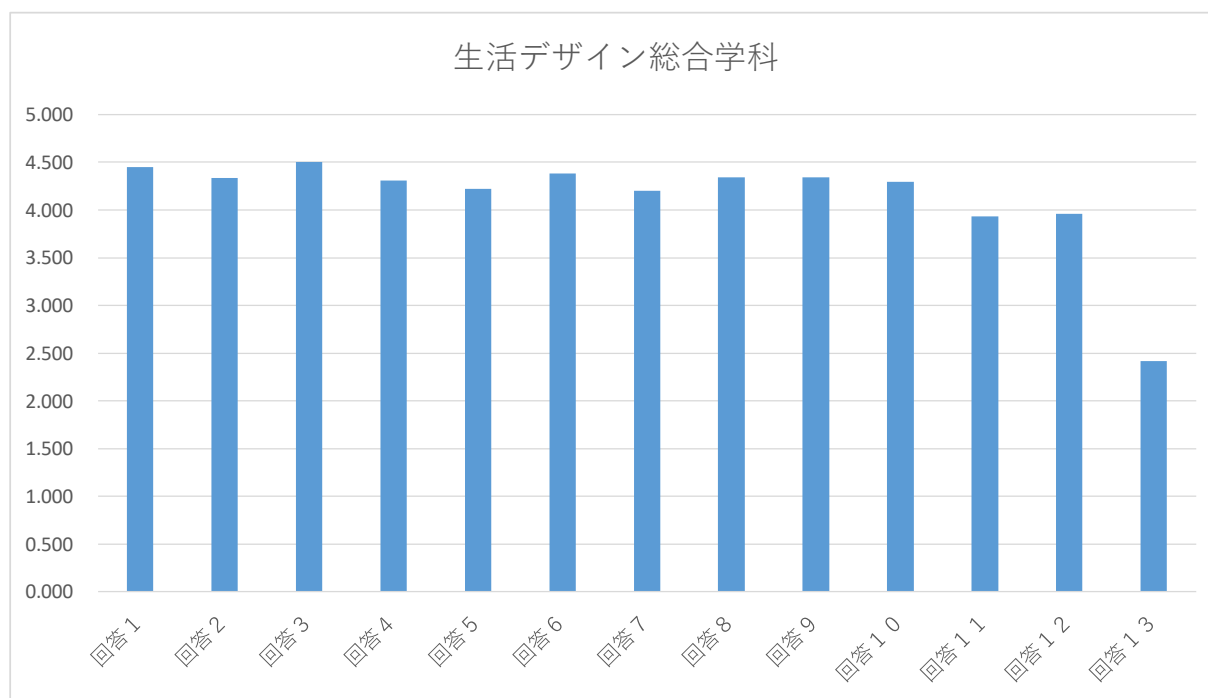


平成30年度 前期 授業評価アンケート各学科集計結果・分析報告

平均値	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6	回答7	回答8	回答9	回答10	回答11	回答12	回答13
食物栄養学科	4.212	4.045	4.333	4.235	4.080	4.232	3.926	4.148	4.304	4.138	3.866	3.823	2.108
幼児教育学科	4.074	3.915	4.202	3.990	3.884	4.042	3.866	4.045	4.162	3.998	3.626	3.687	1.902
生活デザイン総合学科	4.451	4.334	4.501	4.307	4.220	4.384	4.202	4.345	4.343	4.294	3.932	3.960	2.414

- Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
- Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。
- Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。
- Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。
(私語、居眠り、携帯等)
- Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。
- Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。
- Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。
- Q8. この授業は総合的にみて満足している。
- Q9. この授業には積極的に参加した。
- Q10. この授業で知識・技術などが向上した。
- Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。
- Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。
- Q13. この授業に対する1週間あたりの勉強時間は何時間ですか。(授業時間を除く)
5). 3時間以上 4). 3時間～2時間 3). 2時間～1時間 2). 1時間未満 1). していない
- Q14. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)
5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)



Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

【平均:4.451(4.281)】前年度比0.17ポイント上昇。前期アンケート結果と同様、教員は学生達に授業内容を聞き取りやすいようにゆっくりと適性のスピードで話し、声の大きさも明瞭でハッキリと話すように気を付けて授業を行っていることがわかる。

Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。

【平均:4.334(4.143)】前年度比0.191ポイント上昇。前期アンケート結果と同様、教員は板書を書く時は、学生に読みやすいように文字の大きさや濃さなど気を付けて書き、資料等の内容も学生に理解しやすい内容の資料を準備し配布していることがわかる。

Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。

【平均:4.501(4.327)】前年度比0.174ポイント上昇。前期アンケート結果と同様、多くの教員は授業に意欲を持ち、授業内容が学生に理解できるように努力していることがわかる。

Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。(私語、居眠り、携帯等)

【平均:4.307(4.200)】前年度比0.107ポイント上昇。前期アンケート結果と同様、教員は気温が暑い日や寒い日などは適時エアコンを入れたり、学修環境を妨げるような学生の私語があれば注意をして授業を受けやすい学修環境に配慮していることがわかる。

Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。

【平均:4.220(4.069)】前年度比0.151ポイント上昇。前期アンケート結果と同様、教員は学生が授業内容を理解できたか適時確認し、その都度チェックしながら授業を進めていることがわかる。

Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。

【平均:4.384(4.198)】前年度比0.186ポイント上昇。前期アンケート結果と同様、教員は学生に授業内容の大切なポイント箇所があれば、その都度ポイント箇所をわかりやすく示し説明していることがわかる。

Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。

【平均:4.202(4.021)】前年度比0.181ポイント上昇。前期アンケート結果と同様、教員は学生に社会人基礎力が身に付くように授業内容を工夫し授業を行っていることがわかる。学生は授業で身に着けた社会人基礎力の知識や経験を活かし、自分の将来の糧とし実社会で活躍できることを願う。

Q8. この授業は総合的にみて満足している。

【平均:4.345(4.128)】前年度比0.217ポイント上昇。前期アンケート結果と同様、授業について満足している学生が多いと思われる。今後改善すべき点を分析して、100%の学生が満足できるように努力していきたい。

Q9. この授業には積極的に参加した。

【平均:4.343(4.202)】前年度比0.141ポイント上昇。特に、演習、実習系の授業については積極的な姿勢が得られているが、講義系の一部の科目で消極的な回答となった。講義系であっても学生たちが主体的に取り組めるように配慮した授業展開を教員間でも検討しながら、今後進めていきたい。

Q10 この授業で知識・技術が向上した。

【平均:4.294(4.122)】前年度比0.172ポイント上昇。本学科では、積み上げ方式の授業体系ではないこと、専門分野(履修ユニット)の学生と専門外の学生が混在する中で授業を行っているので、全員が向上する授業展開は非常に難しいと考えられるが、受講した学生全てがスキルアップできるように教授方法も工夫して取り組んでいきたい。

Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。

【平均:3.923(3.832)】前年度比0.091ポイント上昇。各科目において、到達目標を授業内に学生たちにしっかり伝え、目標に向かって取り組む学修指導を強化する必要があると考えられる。学生個人の学修の中で、PDCAサイクルにそって学修を進めていく取り組みを学科内で検討していきたい。

Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。

【平均:3.960(3.809)】前年度比0.151ポイント上昇。本学の教育目標の一つでもあるので、全員の学生が常に意識して取り組めるように、授業内での発揮の仕方、行動特性のあり方を指導し、教員全員で働きかけを行っていきたい。

Q13. この授業に対する1週間あたりの勉強時間は何時間ですか。(授業時間を除く)

5). 3時間以上 4). 3時間～2時間 3). 2時間～1時間 2). 1時間未満 1). していない

【平均:2.414(2.107)】前年度比0.307ポイント上昇。前年度と比べ授業外での学修時間が大幅に改善された。しかし授業外での学修時間が不足している。教員側はシラバスに予習、復習を提示しているが、このような結果であるので、今後は全体でこの結果を共有し、教員全体で授業外での学修を促す指導を働きかけていきたい。講義科目と演習科目は取得単位が異なるため選択項目を考慮する必要がある。

Q14. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)

5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)

データがないため分析が出来ない。

良い点・改善点等

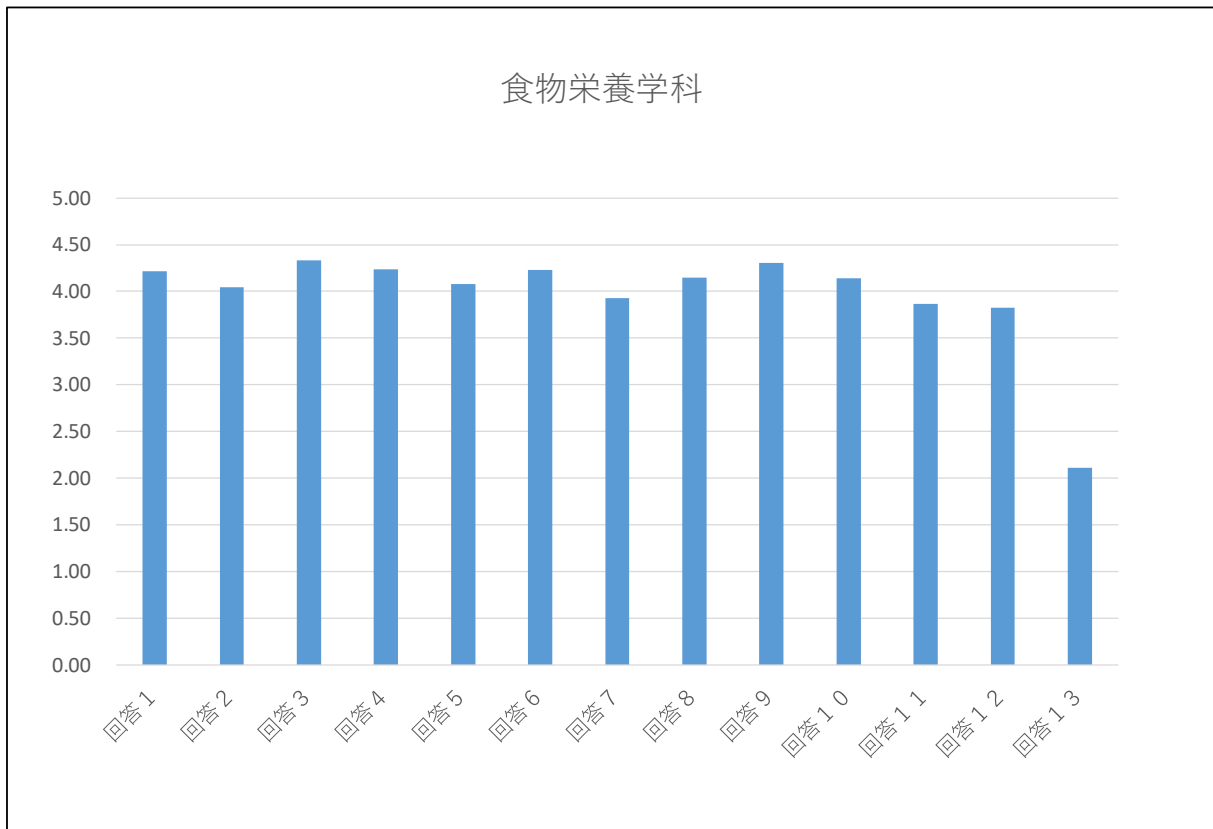
・全体的に評価平均が4以上を示す項目が多く、前年度比で0.09～0.307ポイントと全て上昇している。授業内容、教授法など教員の授業に対する教育力の向上、教育改善が見受けられる。総合平均は4.130(前年度3.957)であり、総合平均で0.173ポイント上昇している。
・全項目の中で、教員側の意欲や熱意を汲み取って評価する項目が一番評価の点が高く、先生方の姿勢が伝わっている。
・シラバスに掲載されている「到達目標」、「予習・復習」、「社会人基礎力」に関する項目の評価が低いので、さらなる教員側の働きかけが課題である。

平成30年度 前期 授業評価アンケート各学科集計結果・分析報告

平均値	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6	回答7	回答8	回答9	回答10	回答11	回答12	回答13
食物栄養学科	4.212	4.045	4.333	4.235	4.080	4.232	3.926	4.148	4.304	4.138	3.866	3.823	2.108
幼児教育学科	4.074	3.915	4.202	3.990	3.884	4.042	3.866	4.045	4.162	3.998	3.626	3.687	1.902
生活デザイン総合学科	4.451	4.334	4.501	4.307	4.220	4.384	4.202	4.345	4.343	4.294	3.932	3.960	2.414

【設問】

- Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
- Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。
- Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。
- Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。
(私語、居眠り、携帯等)
- Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。
- Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。
- Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。
- Q8. この授業は総合的にみて満足している。
- Q9. この授業には積極的に参加した。
- Q10. この授業で知識・技術などが向上した。
- Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。
- Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。
- Q13. この授業に対する1週間あたりの勉強時間は何時間ですか。(授業時間を除く)
5). 3時間以上 4). 3時間～2時間 3). 2時間～1時間 2). 1時間未満 1). していない
- Q14. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)
5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)



Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

【平均:4.2】

平均4.2であり、良好な結果である。また、前回(H29・後期)より+0.2点であった。学生に講義内容が伝わるように、明瞭で聞き取りやすい話し方を意識し、今後も学科全体で努力する。

Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。

【平均:4.0】

平均4.0であり、特に問題はないが、前回(H29・後期)より-0.3点であった。板書の仕方や資料内容を見直し、学生にとって内容がよりわかりやすくなるように、今後も学科全体で努力する。

Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。

【平均:4.3】

平均4.3と良好な結果であり、前回(H29・後期)と同点であった。学科全体での4.3は、いずれの教員も意欲や熱意をもって授業がなされていたと考えられる。教員の意欲は学生の授業に対するモチベーションにもつながるため、この状態を維持するように、今後も学科全体で努力する。

Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。(私語、居眠り、携帯等)

【平均:4.2】

平均4.2であり、概ね良好な結果である。前回(H29・後期)より-0.2点であった。授業内での私語は周りの学生の学修に支障をきたし、居眠りやスマートフォンは学生本人の学修に支障をきたすため、注意しなければならない。また、そのような行為にならないように、学生が主体性を持って受講する授業の展開となるように、学科全体で努力する。

Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。

【平均:4.1】

平均4.1であり、特に問題はないが、前回(H29・後期)より-0.2点であった。授業では理解度を確認する質問をしたり、小テストを実施しながら、学生の理解の度合いを確認しながら授業をすすめている。今後も学科全体で努力する。

Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。

【平均:4.2】

平均4.2であり、概ね良好であるが、前回(H29・後期)より-0.3点であった。栄養士に関する科目は、全ての内容が重要であるが、その中で特にポイントとなる内容を伝え、メリハリのある授業となるように学科全体で努力する。

Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。

【平均:3.9】

平均3.9であり、特に問題はないが、他の質問と比べるとやや低い結果であり、前回(H29・後期)より-0.3点であった。講義科目では社会人基礎力のすべての項目を意識することが難しいため、このような結果となったと考えらる。講義科目における社会人基礎力の獲得のための授業展開について、学科全体として検討したい。

Q8. この授業は総合的にみて満足している。

【平均:4.1】

平均4.1であり、特に問題はが、前回(H29・後期)より-0.3点であった。授業の分かりやすさ、聴きやすさ、すすめ方、学修環境など、学生に不利益なことはないと思われる。今後も授業の工夫・改善を学科全体で努力する。

Q9. この授業には積極的に参加した。

【平均:4.3】

平均4.3と良好な結果であり、前回(H29・後期)と同点であった。学生にとって有益な授業を展開することで、学生の授業への積極性は高まると思われるため、今後も授業の工夫を学科全体で努力していく。

Q10 この授業で知識・技術が向上した。

【平均:4.1】

平均4.1であり、特に問題はないが、前回(H29・後期)より-0.2点であった。栄養士や医療秘書としての専門的な知識や技術が向上するような授業となるように、学科全体で努力していく。

Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。

【平均:3.9】

平均3.9であり、前回(H29・後期)と同点であった。到達目標を達成できているため、単位が認定されているが、学生は自身の目標達成度を低く評価しているものと考えられる。授業の中で、シラバスに示した到達目標を達成できていることを教員から学生に示す必要性が感じられた。今後、各学生が目標を達成できたことを実感できるように授業内評価を検討していく。

Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。

【平均:3.8】

平均3.8であり、前回(H29・後期)より、-0.1点であった。実習・演習科目は学生の取り組む姿勢が社会人基礎力に反映されるが、講義科目では社会人基礎力よりも専門知識の獲得に力点が置かれるため、他の設問より低い結果になったと思われる。しかし、シラバスにも社会人基礎力を示しているため、講義科目においても社会人基礎力を意識できる要素を取り入れて、授業を改善していく。

Q13. この授業に対する1週間あたりの勉強時間は何時間ですか。(授業時間を除く)

5). 3時間以上 4). 3時間～2時間 3). 2時間～1時間 2). 1時間未満 1). していない

【平均:2.1】

平均2.1であり、前回(H29・後期)より、-0.1点であった。「2.1」は、1時間程度と考えられる。シラバスに記載してある時間よりも少ない。各教員が小テストや課題などを課しているが、学生の学修時間が短いことが現状である。教員からの課題がなくても、自主的な学修時間が増えるように、学科全体で努力していく。

Q14. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)

5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)

学生の自主学修の方法は、科目によって様々であり、教員の課題の内容によっても異なると思われる。「授業ノート・配布資料の復習」や「インターネットで検索」が多く、科目によっては「先生に質問した」も多くみられた。いずれの科目も「図書館で調べた」が少ない結果であった。インターネットで簡単に効率よく検索できる時代であるが、教科書以外の専門書を複数読み、より深い理解に到達することを期待する。

良い点・改善点等

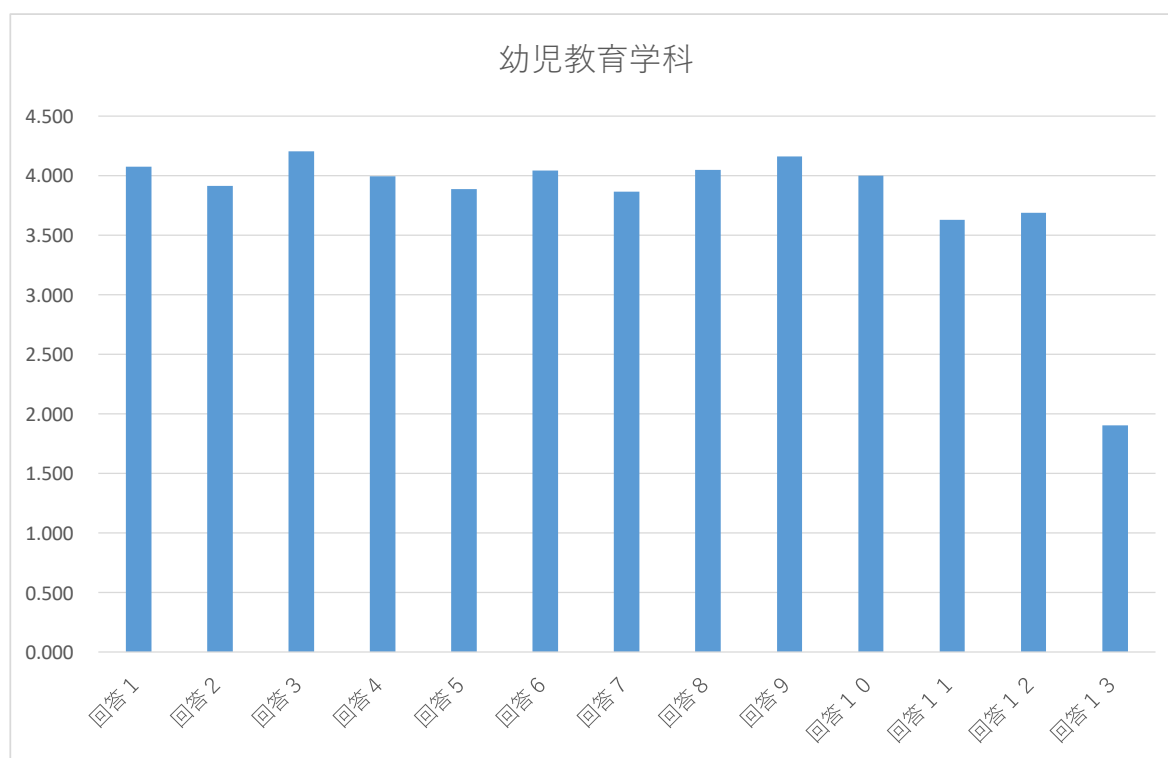
教員の授業内容や進め方、学生への対応などは、平均4以上であり、良好な結果であった。Q4の良好な学修環境の提供およびQ8の総合的な満足度も4をこえており、さらに全科目において「1」「2」と回答するものが0人もしくは3人にも達していないことから、本学科の授業や学生への対応は適切であったと思われる。改善点は、授業時間外の学修時間の確保と、課題に取り組む際のインターネット情報の信憑性についての説明、図書館利用の促進などである。

平成30年度 前期 授業評価アンケート各学科集計結果・分析報告

平均値	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6	回答7	回答8	回答9	回答10	回答11	回答12	回答13
食物栄養学科	4.212	4.045	4.333	4.235	4.080	4.232	3.926	4.148	4.304	4.138	3.866	3.823	2.108
幼児教育学科	4.074	3.915	4.202	3.990	3.884	4.042	3.866	4.045	4.162	3.998	3.626	3.687	1.902
生活デザイン総合学科	4.451	4.334	4.501	4.307	4.220	4.384	4.202	4.345	4.343	4.294	3.932	3.960	2.414

【設問】

- Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
- Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。
- Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。
- Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。
(私語、居眠り、携帯等)
- Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。
- Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。
- Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。
- Q8. この授業は総合的にみて満足している。
- Q9. この授業には積極的に参加した。
- Q10. この授業で知識・技術などが向上した。
- Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。
- Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。
- Q13. この授業に対する1週間あたりの勉強時間は何時間ですか。(授業時間を除く)
5). 3時間以上 4). 3時間～2時間 3). 2時間～1時間 2). 1時間未満 1). していない
- Q14. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)
5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)



Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

【4.07(平成29年度前期平均:3.79・後期平均:3.81)】

平成29年度前後期の評価と比べると平均0.2くらい上がっているであり、先生方には学生への話し方は気を付けていただいている結果だと思います。受講人数も少人数から100名を超える授業もありますので、科目によってばらつきはあると思います。

Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。

【3.91(平成29年度前期平均:3.67、後期平均:3.72)】

昨年度の評価と比べると平均0.2くらい上がっている。
講義科目については、学生にわかりやすく伝えるために板書やスライド、配布資料に工夫を凝らしていただいている結果である。予習・復習の課題も提示していただいていることも影響あると思います。

Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。

【4.20(平成29年度前期平均:3.89・後期平均:3.92)】

昨年度の評価と比べると0.3くらい上がっている。
担当教員は学生ために意欲や熱意をもって授業を展開していただいている。4.0以上ということは徐々に熱意は伝わっているということになります。

Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。(私語、居眠り、携帯等)

【3.99(平成29年度前期平均:3.66、後期平均:3.74)】

昨年度の評価と比べると0.3くらい上がっている。
受講人数が10～110名ということで、人数に合わせた学修環境を保つのは難しいと思います。しかし、担当教員側で様々な工夫をしていただいている結果だと思います。

Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。

【3.88(平成29年度前期平均:3.60、後期平均:3.68)】

昨年度の評価と比べると0.2くらい横ばいである。
Q4に関連はしており、少人数であれば学生の授業態度や表情で確認しやすいですが、受講人数が多いと確認が疎かになると可能性がある。今年度は積極的に授業の課題を提示していただいているから担当教員側でできるようになったと思います。

Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。

【4.04(平成29年度前期平均:3.73、後期平均:3.78)】

昨年度と前期の評価と比べると0.2～0.3くらい上がっている。
授業の大切なポイントは授業の予習・復習によって、整理されたと思います。ただ、学生によって理解度の差もありますので、小テストやリアクションペーパーを活用して、理解度を確認するべきである。

Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。

【3.86(平成29年度前期平均:3.60、後期平均:3.66)】

昨年度と比較すると0.2～0.3くらい上がっている。
昨年度のシラバスから必ず、社会人基礎力の12要素うち必須7要素を記入しなければならなくなったので、教員側としては意識して授業はしていただいている。学生が社会人基礎力を身につけているかという確認作業が必要である。

Q8. この授業は総合的にみて満足している。

【4.16(平成29年度前期平均:3.72、後期平均:3.84)】

昨年度と比較すると0.3くらい増である。全体的には満足しているという結果にはなっている。
他学科と比較しても差が縮まった。

Q9. この授業には積極的に参加した。

【4.16(平成29年度前期平均:3.84、後期平均:3.96)】
昨年度と比較すると0.2～0.3増である。
保育者としての魅力を伝えることや保育現場が求めているものが伝わっていると考えられる。

Q10 この授業で知識・技術が向上した。

【3.99(平成29年度前期平均:3.69、後期平均:3.81)】
昨年度と比較すると0.2～0.3増である
保育・教育現場が求めているものが伝わりだしたと考えられる。

Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。

【3.62(平成29年度:前期平均:3.38、後期平均3.44)】
昨年度と比較すると0.2くらい増である。
シラバスで作成されている到達目標について、秀(S)と思っている学生であれば評価は低くなり、可(C)と思っている学生であれば評価は高くなる。だから、シラバス作成時に教員間でしっかり到達目標の設定基準を検討する必要がある。

Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。

【3.68(平成29年度:前期平均:3.40、後期平均:3.48)】
教員がしっかりと意図をもって、社会人基礎力の育成に努めなければならないと考える。

Q13. この授業に対する1週間あたりの勉強時間は何時間ですか。(授業時間を除く)

5). 3時間以上 4). 3時間～2時間 3). 2時間～1時間 2). 1時間未満 1). していない

【前期平均:1.83、後期平均:1.79】
1コマ当たり、平均3時間の予習復習が必要である。しかし、ほとんどの学生が1時間未満及びしていないということで、残念な結果であった。こちらから、もっと課題を提供する必要がある。

Q14. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)

5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)

インターネットで検索することの割合が多かった。そのような、学修行動が多かったので、インターネット検索の方法についてはしっかりレクチャーすることが大切である。

良い点・改善点等

今年度前期は昨年度と比べると各項目0.2～0.3の増となった。この結果として考えられるのは、各担当教員が授業の課題を提示してくれるようになったと考えられる。他学科と比較するとそれぞれの項目は低い結果となるが、改善したと思う。厳しく指導すると、アンケートで、学生の感情で低い結果になることはありあえる。本学科は幼稚園教諭二種と保育士資格の2つの国家資格を取得を主とするため、ある程度厳しくを教えることも大切になってくる。だから、学科全体で改善点検討すべきだと考える